

2011年6月17日

各位

日本農産工業株式会社

2011年7～9月期の畜産配合飼料価格について

畜産配合飼料価格改定額

弊社は、2011年7～9月期の畜産配合飼料価格につきまして、以下の飼料原料情勢等に基づき、2011年4～6月期に比較して、全国全畜種総平均トン当たり約1,500円値上げすることを決定致しました。尚、改定額は、地域別・畜種用途別・銘柄別に異なります。

飼料原料・外国為替情勢について

1. 原料(飼料穀物)

シカゴ定期とうもろこし相場は史上最高値を更新し、直近で¢800/ブッシェルに迫る勢いです。原油高を背景としたエタノールの需要が堅調であり、今年の収穫期前には米国の在庫水準が歴史的な低水準になる見通しに加え、ミシシッピ水系での洪水発生や南部での乾燥などの情報により、今年度産についても作付け生育状況に不安があることから、上昇基調となっています。

2. 副原料(植物蛋白原料)

シカゴ定期大豆期近相場は、現在は¢1,300～1,400/ブッシェルの高値水準を維持しています。米国産大豆の在庫は低水準ですが、南米産の豊作と中国の需要減速により、相場の上昇は一時止まっています。

この様な中、シカゴ定期大豆粕期近相場は、4-6月期間とほぼ同水準の\$370/ショートトン近辺で推移しています。7-9月期間渡し条件の国内大豆粕価格は、4-6月期間と比較すると小幅の値下げとなる見込みです。

3. 海上運賃

米国ガルフ/日本間パナマックス級本船の運賃は、\$60割れ水準の取引となっています。世界的な大型船舶の供給は需要に対してやや余裕がある一方で、燃料価格が上昇しており、運賃相場は小幅な値動きとなっています。

4. 外国為替

米国の景気減速懸念により低金利政策の長期化観測もあり、ドルは軟調傾向になっています。5月以降、ドル円相場は79円台後半～82円/ドルの範囲となっており、直近では1ドル80円台後半での取引となっています。

(お問合せ先) 日本農産工業株式会社 畜産飼料部 馬本 (TEL 045-224-3704)